



学校だより 年度初め 特別号

令和8年(2026年)4月8日

門真市立門真小学校

校長 植原 宏仁

【教育目標】

『未来を切り拓く生きる力の育成』

【めざす子ども像】

- 自らねばり強く学ぶ子
- 思いやりのある子
- 自尊心の高い子
- 心身ともにたくましく健やかな子

～「学校が楽しい!」「授業が分かる」「先生たちが自分のことを分かってくれる!」環境づくり～

今年度、「未来を切り拓く生きる力の育成」を学校教育目標とし、子どもたちが予測困難と言われる将来においても、社会において自立できるように、子どもたちに主体性を育む授業づくりを行ってまいります。

具体的には、昨年度に引き続き、情報活用能力の育成及び探究学習の充実に取り組みます。そのため、学校の教育環境を1年間安定して行えるように、「複数学年チーム担任制」及び「文科省指定教育課程柔軟化サキドリ事業」に取り組みます。それぞれの内容をご説明させていただきます。

1. 複数学年チーム担任制

今年度のチーム制の特徴は、「子どもたち一人ひとりを、より多くの目で見守ることで、ちょっとした良さががんばりにも気づくことができ、自尊心を育み、学力の向上につなげる。」ことのできる体制です。主な特徴をご紹介します。

1.) 複数学年による「チーム体制」の構築

従来の単一学級の枠を超え、複数学年の教員が一つの大きなチームとして活動します。日々の授業はもちろん、遠足や運動会といった学校行事においても、複数学年の児童が交流し、教職員が連携して関わります。これにより、担任一人だけでなく、「多くの大人が自分を見てくれている」という安心感を児童に醸成し、多角的な児童理解に努めてまいります。

2.) 「教科担任的指導」の導入 (3年生～6年生)

中学年・高学年においては、一部の教科で「教科担任的指導」を取り入れます。教員がそれぞれの専門性や得意分野を活かして授業準備を行うことで、わくわくするような授業を展開します。また、児童にとっては、複数の先生と触れ合うことで、相性の良い相談相手を見つけやすくなるメリットもあります。

3.) 多角的な視点による「きめ細やかな支援」

「一人の児童を、複数の教員の目で見取る」ことが、この体制の最大の強みです。上記で述べた、児童の良さががんばりを認めることが出来ることに加え、学習面でのつまづきや、生活面での小さな変化にいち早く気づき、教員間で情報を共有することで、一人ひとりの特性に応じたきめ細やかな支援も可能となります。放課後や休み時間も含め、チーム全体で児童の成長を支えていきます。

4.) 教員同士の「共創」による指導力の向上

この体制は、教員の成長を支える場でもあります。日常的に授業の進め方や指導の悩みについて相談・共有し合うことで、若手からベテランまでが互いに学び合い、指導力の向上を図ります。「先生たちが生き生きと学び合っている姿」を子どもたちに見せることが、より良い教育環境づくりにつながると確信しています。

5.) まとめ

担任一人の目だけでなく、多くの担任の目で見守ることで、お子様の得意なことや頑張りをより多く見つけ、励ましていきたいと考えています。私たち教職員もまた、日々学び、成長していく所存です。何か気になることがございましたら、いつでもチームリーダー・副リーダーに、お気軽にお声がけください。

2. 文科省指定教育課程柔軟化サキドリ事業について

今年度は、サキドリ事業を活用します。門真市教育委員会と連携のもと、「探究学習の充実」と、「探究学習を充実させるための教職員の授業づくりの研修」に取り組みます。

まず、以下に、昨年度3月24日にテトルで配信した門真市教育委員会からの文書を再掲します。

1. 本事業の趣旨 (文部科学省指定事業)

本事業は、国(文部科学省)が令和12年度に予定している次期学習指導要領改訂に向けて検討されている「調整授業時数制度」を、先行的に試行・研究するものです。

国の特例措置により、標準授業時数の一部を学校の判断で弾力的に配分することが可能となります。これにより、学校の特色を生かした教育活動や、児童の興味・関心に応じたきめ細かな教育課程の編成をめざします。

なお、本事業により学習内容が削減されたり、教育水準が低下したりするものではありません。国の基準に基づき、必要な学習内容は確保したうえで、より効果的な学びを実現することを目的としています。

具体的な取り組み内容につきましては、後日学校を通じてお知らせいたします。

2. 教育委員会としての支援体制

教育委員会といたしましては、今回の指定を受け、指導主事等による専門的な助言をはじめ、重点的なバックアップ体制を構築し、学校とともに教育の質のさらなる向上を図ってまいります。

本事業の趣旨をご理解いただき、引き続き教育活動へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【本校における取り組み内容】

本校では、各教科の内容を精査し、指導方法の工夫や教科横断的な視点等での単元の再構成を行うことで、学習内容を確実に履修しながら、年間授業総時数の中から30時間を捻出します(3～6年生で実施)。その30時間のうち、20時間は総合的な学習の時間(探究学習)の充実に充てます。「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」といった探究的な学びをさらに深めることができる必要な時数を確保するためです。残りの10時間は教職員の研修時間として活用し、探究学習の指導力の向上や学びを深めるための教材分析の時間などに充て、児童の学びに還元します。

3年生以上の総合的な学習の時間での取り組み内容につきましては、詳細がきまりましたら、改めてお伝えいたします。

《時数の再配分》

各教科の年間授業時数

↓30時間を再配分

探究学習 (20時間)

- ・総合的な学習の時間を拡充
- ・児童が主体的に課題を設定・解決

教員研修 (10時間)

- ・探究学習の質向上のための研修
- ・授業改善・指導力向上

3. 最後に

今年度、「複数学年チーム担任制」及び「文科省指定教育課程柔軟化サキドリ事業」に取り組むことで、『学校が楽しい』『授業はわかりやすい』『先生たちが自分を分かってくれる』児童がそう思える環境をさらに高めることが出来ると考えております。そのためにも保護者の皆様のご理解とご協力は不可欠です。1年間どうぞよろしくお願い致します。